

## 島根大学大学評価評議会（第13回）議事要録

日 時：平成20年4月14日（月）15時30分開会～16時30分閉会

場 所：松江キャンパス 本部棟5階大会議室

出席者：山本理事，坂本理事，高安理事，小林理事，松本理事，井原理事，田坂法文学部長，  
高岡教育学部長，木下医学部長，竹内総合理工学部長，谷口生物資源科学部長，  
三宅法務研究科長

欠席者：本田学長

### 議 題 1. 「教員個人評価基準」（評語の改定）について

先般（3月17日開催）の評価評議会において，教員の評価結果を分かりやすく，より適切に表現する視点から，総合評価の評語を現在の「A・B・C・D・E」から「S・A・B・C・D」の5段階の評価に改定したいと学長から提案があった。

審議の後，原案通り承認された。

### 議 題 2. 平成20年度実施 教員個人評価スケジュールについて

「国立大学法人島根大学における教員個人評価に関する規則」に基づき，平成20年度に実施する教員個人評価のスケジュールを別添資料2のとおりとしたい。なお，平成20年度は，毎年度の個人評価に加えて，3年度ごとの個人評価の実施年度となるので，構成員にもその旨周知いただきたい。スケジュールは，3年度ごとの評価も毎年度の評価と同じスケジュールになる。また，3年度ごとの評価のための根拠データは，平成17年度から19年度までの3年間のデータとなるので，このことも併せ周知いただきたい。

以上の説明の後審議に入り，委員から主に次のような意見があった。

- ・3年ごとの評価について，試行を含めた3年というのはおかしいのではないかな。
- ・今年やらなければならない3年間の評価であるならば，簡略化された3年分の自己評価書が作れるよう書式を示してほしい。
- ・規則に従って評価するとしたら，給与への反映はどこでやることになるのかな。
- ・給与に反映しないなら，3年でまとめる意味がどこにもない。それは元々の制度の趣旨が違うのではないかな。

理事 3年分の評価は，教育研究活動を活性化させるためにあるので，3年間の考え方は必要だと思う。3年間を評価する目的に沿ったフォーマットがあってしかるべきと考える。

理事 規則を制定したときと今の状況が若干異なっている。

理事 3年目の評価はチェックポイントの意味合いがあったのではないかな。制度としては今年度実施する方向で考えているが，伺った議論をもとにもう少し，評価室で整理をしてみたい。改めて5月の評価評議会でも提示したい。

以上の審議結果，5月の評価評議会でも改めて審議することとなった。

### 報 告 1. 法人評価スケジュールについて

原案通り承認された。